

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	健康づくり・未病改善事業				所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
					●		●
事業対象	町民	目的	町民の健康づくり・未病改善及び医療費の削減のため。				
事業概要	町民の健康づくり・未病改善のため、健康相談、保健指導等を実施。						

事業予算						
会計	01	款項目	04	01	03	大事業 0001 健康づくり・未病改善事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
						R 4 決算額
	直接事業費	12,322		1,056		5,541
	概算人件費	5,277		8,323		5,597
	トータルコスト	17,599		9,379		11,138
	国庫/県支出金	542		35		118
	その他	10,484		0		2,158
						3
		正規職員		0.58 人		2,219 千円
		再任用職員		人		千円
		会計年度任用職員		2.1 人		2,371 千円
		その他		人		千円
		合計				4,590 千円

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
① 未病センター利用者数（一日平均）（人）	－	5.3	2.09	3.23	3.7
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	← 高い → 低い			
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□
成果・課題等	未病センターの周知を引き続き行っていく。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	健康診査事業				所管課	子育て・健康課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	病気の早期発見・早期治療により健康の維持増進を図る。			
事業概要	病気の早期発見・早期治療につなげることで、町民の健康管理に役立てる。健康の維持・増進に向けた指導を行う。					

事業予算								
会計	01	款項目	04	01	03	大事業	0002 健康診査事業	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額
	直接事業費	15,553		15,062		17,146		115,833
	概算人件費	3,692		3,390		4,318		4,034
	トータルコスト	19,245		18,452		21,464		119,867
国庫/県支出金		817		1,608		1,057		1,704
その他		0		0		0		0
R 4 概算人件費	正規職員		0.8 人		3,220 千円			
	再任用職員		人		千円			
	会計年度任用職員		1.6 人		814 千円			
	その他		人		千円			
	合計				4,034 千円			

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	胃がん検診受診率(%)	－	男性1.1% 女性2.3%	男性1.1% 女性2.3%	男性1.0% 女性2.0%	男性1.2% 女性2.2%
②	肺がん検診受診率(%)	－	男性5.7% 女性11.1%	男性5.7% 女性11.1%	男性4.0% 女性6.8%	男性4.3% 女性6.3%

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	← 高い → 低い			
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□
成果・課題等	胃がん、子宮頸がん、乳がん検診の受診率の向上に向けて、有効な周知方法を検討していく。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	要改善
	意見			

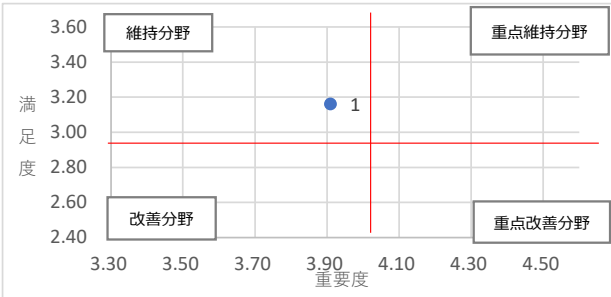
基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	予防接種事業				所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●				●		
事業対象	町民	目的	予防接種法に基づき、乳幼児と児童・生徒及び高齢者を対象として予防接種を行うことにより、疾病の予防・蔓延の防止を図る。				
事業概要	予防接種法に基づき、乳幼児と児童・生徒及び高齢者を対象として予防接種を行うことにより、疾病の予防・蔓延の防止を図り住民の健康管理に努める。						

事業予算						
会計	01	款項目	04	01	02	大事業 0001 予防接種事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
						R 4 決算実績
	直接事業費	55,066		79,252		61,466
	概算人件費	1,948		2,708		3,454
	トータルコスト	57,014		81,960		64,920
	国庫/県支出金	238		1,870		2,213
	その他	0		0		0
R 4 概算人件費	正規職員		0.58 人		2,712 千円	
	再任用職員		人		千円	
	会計年度任用職員		0.6 人		371 千円	
	その他		人		千円	
	合計				3,083 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析

分析の視点	高い	←————→				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	■	□	□	□	□	
実効性	■	□	□	□	□	
時代即応性	■	□	□	□	□	
持続可能性	■	□	□	□	□	
成果・課題等	医師会と相談のうえ、適宜、接種勧奨の通知を送付している。					

必要性

必然性

緊急性

実効性

時代即応性

持続可能性

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

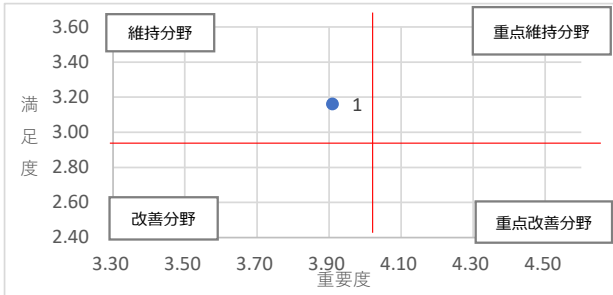
基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	特定健診等事業（国保）				所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
	●				●		●
事業対象	町民	目的	40歳から75歳未満の国保加入者を対象に、生活習慣病の早期発見及び早期改善を実施し、医療費の削減を図る。				
事業概要	40歳から75歳未満の国保加入者を対象に、生活習慣病の早期発見及び早期改善を実施し、医療費の削減を図る。						

事業予算							
会計	02	款項目	05	01	01	大事業	0001 特定健診等事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
						R 4 決算額	
トータルコスト	直接事業費	23,097		20,322		20,885	
	概算人件費	8,363		8,810		8,840	
		31,460		29,132		29,725	
国庫/県支出金		7,680		14,914		5,556	
その他		0		0		0	
R 4 概算人件費	正規職員		0.79 人		2,780 千円		
	再任用職員		人		千円		
	会計年度任用職員		4.7 人		5,541 千円		
	その他		人		千円		
	合計				8,321 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	特定健康診査実施率(%)	－	37.8	32.4	32.8	34.0
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析						
分析の視点	高い	←————→				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	■	□	□	□	□	
実効性	■	□	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	新型コロナウイルス感染症の影響により、受診率の低下がみられるので、5類への移行後の受診勧奨をしっかりと行っていく必要がある。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	健康診査事業（後期）				所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●				●		
事業対象	町民	目的	後期高齢者医療制度被保険者に対し健康診査を実施により、健康管理の促進と高騰する医療費の削減を図る。				
事業概要	後期高齢者医療制度被保険者に対し健康診査を実施することによって、健康管理の促進と高騰する医療費の削減を図る。						

事業予算								
会計	03	款項目	03	01	01	大事業	0001 健康診査事業	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額
	直接事業費	24,430		25,259		24,772		25,351
	概算人件費	1,340		1,208		1,080		845
	トータルコスト	25,770		26,467		25,852		26,196
国庫/県支出金		0		0		0		0
その他		21,903		27,484		21,514		22,533
R 4 概算人件費		正規職員		0.25 人		845 千円		
		再任用職員		人		千円		
		会計年度任用職員		人		千円		
		その他		人		千円		
		合計				845 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	後期健康診査実施率（％）	－	43.2	40.8	39.3	39.2
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ← → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	介護予防との一体化にむけて、実施内容に関係各課と検討していく。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

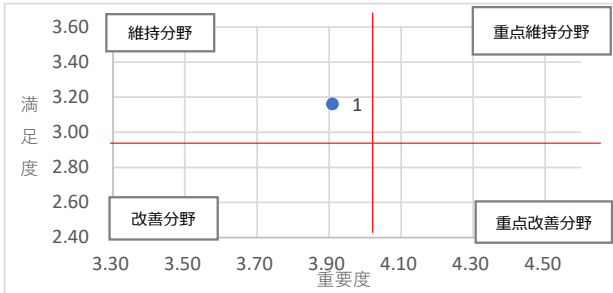
基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	自殺予防推進事業				所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
					●		●
事業対象	町民	目的	一人ひとりが命の大切さについて理解し、誰も自殺に迫込まれることのない町を目指す。				
事業概要	大切な命を守るために1人ひとりができることについて考えてもらうため、講座等を通じて自殺対策に関する普及啓発を行う。						

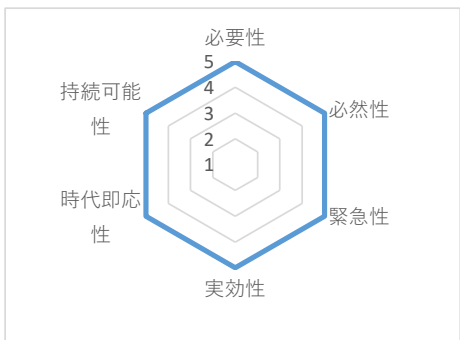
事業予算						
会計	01	款項目	04	01	03	大事業 0003 自殺予防推進事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額	R 3 決算額	R 4 決算額
	直接事業費	70		0	30	90
	概算人件費	799		559	513	1,120
	トータルコスト	869		559	543	1,200
	国庫/県支出金	41		0	15	55
	その他	0		0	0	0
R 4 概算人件費	正規職員		0.33 人		1,120 千円	
	再任用職員		人		千円	
	会計年度任用職員		人		千円	
	その他		人		千円	
	合計				1,120 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	誰も自殺に追い込まれることのない二宮町を目指す		数字に表せられず	数字に表せられず	数字に表せられず	数字に表せられず
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析					
分析の視点	高い	← 高い → 低い			
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	担当部署だけでなく、全庁的な連携が必要になってくるため、引き続き庁内連絡会を開催していく。				



※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	保健センター管理運営経費 ※				所管課	子育て・健康課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	
事業対象		目的	保健センターの維持管理のため。			
事業概要	保健センターの適切な施設運営と管理を実施する。					

事業予算						
会計	01	款項目	04	01	04	大事業 0001 保健センター管理運営経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
	直接事業費	4,940		5,264		13,175
	概算人件費	1,691		1,570		3,931
	トータルコスト	6,631		6,834		17,106
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	537		539		414
						0
R 4 概算人件費	正規職員		0.17 人		1,225 千円	
	再任用職員		0 人		千円	
	会計年度任用職員		0 人		千円	
	その他		0 人		千円	
	合計				1,225 千円	

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	健康づくり支援の推進	3.91	3.16
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

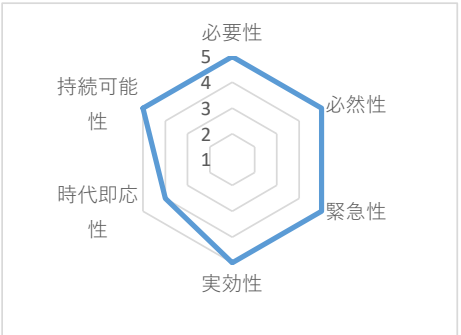
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	← 高い → 低い			
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	施設の老朽化（特に空調設備）の進行具合と、新庁舎の建設の兼ね合いを考えたい、対応する必要がある。				



※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	救急医療事業				所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	町民	目的	休日、夜間に受診できる医療を確保するため。				
事業概要	一次救急（休日急患当番医）及び二次救急を実施し、救急医療の充実を図る。						

事業予算						
会計	01	款項目	04	01	01	大事業 0003 救急医療事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
						R 4 決算額
	直接事業費	13,858		13,598		13,845
	概算人件費	399		199		199
	トータルコスト	14,257		13,797		14,044
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R 4 概算人件費	正規職員		0.08 人		399 千円	
	再任用職員		0 人		千円	
	会計年度任用職員		0 人		千円	
	その他		0 人		千円	
	合計				399 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	休日急患当番医数（人）	－	23	23	23	23
②	二次救急病院数（箇所）	－	4	4	4	4

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域医療の充実	4.43	2.97
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

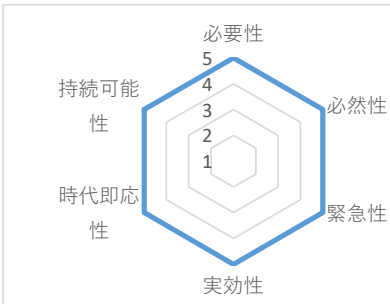
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	← 高い → 低い			
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	かかりつけ医の推奨と小児救急ダイヤルの周知を実施している。				



※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	保健衛生管理経費				所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	医師会等	目的	地域医療行政の円滑な運営を図り、医師会及び歯科医師会と連携を密にするため。				
事業概要	医師会と歯科医師会との連携体制にかかわる経費。						

事業予算								
会計	01	款項目	04	01	01	大事業	0002 保健衛生管理経費	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額
	直接事業費	1,892		6,879		2,411		2,520
	概算人件費	1,568		2,072		2,297		1,508
	トータルコスト	3,460		8,951		4,708		4,028
国庫/県支出金		0		0		0		0
その他		0		0		0		0
R 4 概算人件費		正規職員		0.37 人		1,508 千円		
		再任用職員		0 人		千円		
		会計年度任用職員		0 人		千円		
		その他		0 人		千円		
		合計				1,508 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域医療の充実	4.43	2.97
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	← 高い → 低い			
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	医師会との連携を密に図っている。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	子育て世代包括支援事業				所管課	子育て・健康課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●	●			●	●
事業対象	町民	目的	育児に不安を抱える方などが、気軽に相談できる窓口を設置し不安の解消に努める。			
事業概要	母子の健康保持・増進を図るため、健康診査や育児相談など、育児不安の解消や親子関係の向上を図る。また、妊娠・出産から育児期を通して切れ目のない支援を行うため、子育て世代包括支援センターを設置。					

事業予算								
会計	01	款項目	03	02	03	大事業	0001 子育て世代包括支援事業	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額
	直接事業費	13,598		22,213		10,289		10,882
	概算人件費	10,039		9,317		11,101		10,608
	トータルコスト	23,637		31,530		21,390		21,490
国庫/県支出金		4,431		678		269		0
その他		2		0		0		0
R 4 概算人件費		正規職員		1.21 人		2,642 千円		
		再任用職員		0 人		0 千円		
		会計年度任用職員		13.9 人		7,966 千円		
		その他		0 人		0 千円		
		合計				10,608 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
① 母子手帳発行数（冊）	－	133	130	116	96
② 乳幼児全戸訪問事業の訪問率【戦略】（％）	100.0	97.5	51.7	86.2	99.1

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	母子保健の充実	4.29	3.06
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	← 高い → 低い			
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□
成果・課題等	・各種相談件数、養育支援訪問の増加により、コロナ禍における育児の孤立、不安感の増大が顕著である。 ・きめ細やかな訪問や相談などを今後も実施する必要性を感じる。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	育児発達支援事業				所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
					●	●	
事業対象	町民	目的	子どもの発達支援を行うとともに、保護者や園の先生方とともに支援の仕方を考えていく。				
事業概要	健診や相談で課題があった親子に親子支援教室や育児発達支援教室を実施し、療育的な支援を行う。また、保育園や幼稚園従事者への支援も行う。						

事業予算								
会計	01	款項目	03	02	03	大事業	0002 育児・発達支援事業	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額
	直接事業費	900		611		907		965
	概算人件費	4,150		3,936		4,641		3,256
	トータルコスト	5,050		4,547		5,548		4,221
国庫/県支出金		0		0		0		0
その他		0		0		0		0
R 4 概算人件費		正規職員		0.36 人		732 千円		
		再任用職員		0 人		千円		
		会計年度任用職員		2.8 人		2,524 千円		
		その他		0 人		千円		
		合計				3,256 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	育児について困ったとき、気軽に相談できる人や場がある保護者の割合【戦略】（％）	93.7	93.7	91.8	96.8	84.6
②	児童相談員の相談受付回数【戦略】（回）	423	423	335	634	839

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	母子保健の充実	4.29	3.06
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析

分析の視点	高い	←————→				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	■	□	□	□	□	
緊急性	■	□	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	■	□	□	□	□	
持続可能性	□	■	□	□	□	
成果・課題等	発達支援教室や相談のニーズが年々高まっており、実施方法等について考慮する必要がある。					

項目	スコア
必要性	5
必然性	4
緊急性	3
実効性	2
時代即応性	1
持続可能性	1

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	子ども・子育て支援給付経費				所管課	子育て・健康課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●				●	●
事業対象	民間保育所等	目的	民間保育所の運営支援のため。			
事業概要	児童福祉の向上を図るため、民間保育所の運営に係る経費を給付する					

事業予算							
会計	01	款項目	03	02	05	大事業	0001 子ども・子育て支援給付経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
						R 4 決算額	
	直接事業費	433,051		521,110		550,102	
	概算人件費	4,275		5,438		5,389	
トータルコスト		437,326		526,548		555,491	
国庫/県支出金		256,684		352,712		365,064	
その他		59,979		40,518		43,873	
						38,432	
R 4 概算人件費		正規職員		1.01 人		5,148 千円	
		再任用職員		人		千円	
		会計年度任用職員		人		千円	
		その他		人		千円	
		合計				5,148 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	待機児童数(翌年4月1日現在)【戦略】(人)	1	2	0	0	0
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	教育・保育環境の充実	4.29	2.83
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析					
分析の視点	高い	← 高い → 低い			
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	共働き世帯の増加により保育所の需要増加と幼稚園の需要減少が続くが、少子化に伴う未就学児自体の減少状況にも注視して適切な事業運営に努め、引き続き民間保育所の入所希望者の円滑な受け入れを図る。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

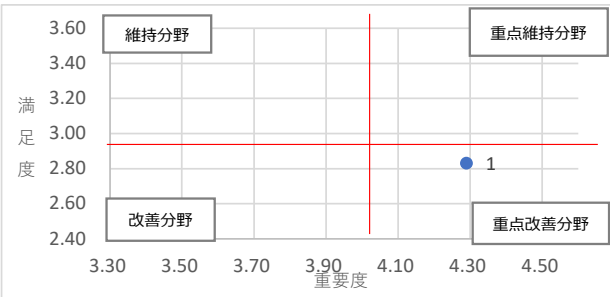
基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	百合が丘保育園運営事務経費				所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
					●		●
事業対象		目的	町立百合が丘保育園の運営支援のため。				
事業概要	町立百合が丘保育園を運営するための経費						

事業予算							
会計	01	款項目	03	02	04	大事業	0001 百合が丘保育園運営事務経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
						R 4 決算額	
	直接事業費	11,405		10,700		10,898	
	概算人件費	85,422		51,161		31,405	
トータルコスト		96,827		61,861		42,303	
国庫/県支出金		0		959		960	
その他		6,386		6,934		7,109	
						11,956	
R 4 概算人件費	正規職員		7.17 人		32,743 千円		
	再任用職員		人		千円		
	会計年度任用職員		人		千円		
	その他		人		千円		
	合計				32,743 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	教育・保育環境の充実	4.29	2.83
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析

分析の視点	高い	← 5 4 3 2 1 →				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	□	■	□	□	□	
緊急性	■	□	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	□	■	□	□	
成果・課題等	町内民間保育所の状況も考慮しながら、柔軟に入所者の受け入れを行い、町内保育需要の安定化を図った。共働きの増加と少子化という相反する需要の変化に注視し、今後の在り方を検討していく必要がある。					

項目	スコア
必要性	5
必然性	3
緊急性	4
実効性	2
時代即応性	3

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

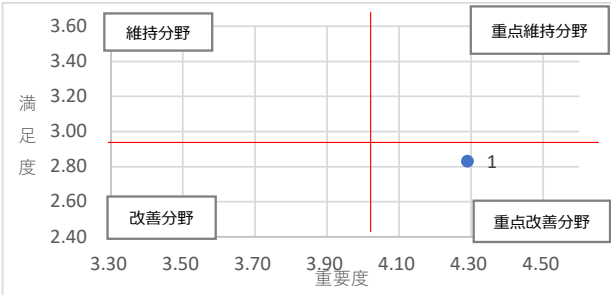
基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	百合が丘保育園維持管理経費 ※				所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
					●		
事業対象		目的	町立百合が丘保育園の維持管理のため。				
事業概要	町立百合が丘保育園の維持管理のための経費						

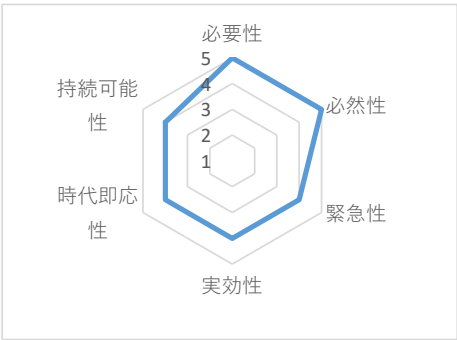
事業予算							
会計	01	款項目	03	02	04	大事業	0002 百合が丘保育園維持管理経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
						R 4 決算額	
	直接事業費	5,539		4,231		5,961	
	概算人件費	1,333		364		457	
トータルコスト		6,872		4,595		6,418	
国庫/県支出金		0		738		104	
その他		0		0		0	
R 4 概算人件費		正規職員		0.08 人		520 千円	
		再任用職員		人		千円	
		会計年度任用職員		人		千円	
		その他		人		千円	
		合計				520 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	教育・保育環境の充実	4.29	2.83
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析					
分析の視点	高い	← 高い → 低い			
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	築50年を超える園舎について、実態調査を経た大規模改修を予定しており、あわせて備品・設備等の状況を把握し予防保全に努め、機能維持を図る。				



※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

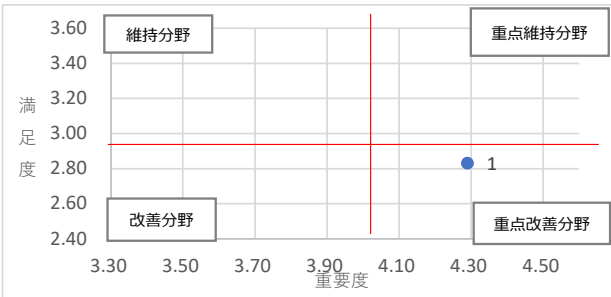
基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	私立幼稚園教育推進事業				所管課	子育て・健康課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
			●	●	●	●
事業対象	町民、 私立幼稚園	目的	私立幼稚園の運営支援のため。			
事業概要	私立幼稚園に就園する3歳から5歳の保護者の経済的負担を軽減するために保育料の一部を補助する。また、私立幼稚園に対して園経営の一部を助成し、幼児教育の振興を図る。					

事業予算							
会計	01	款項目	03	02	06	大事業	0001 私立幼稚園教育推進事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
						R 4 決算額	
	直接事業費	25,403		2,156		1,778	
	概算人件費	1,449		1,682		1,124	
トータルコスト		26,852		3,838		2,902	
国庫/県支出金		5,879		270		628	
その他		0		0		0	
R 4 概算人件費		正規職員		0.23 人		1,275 千円	
		再任用職員		人		千円	
		会計年度任用職員		人		千円	
		その他		人		千円	
		合計				1,275 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—					
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	教育・保育環境の充実	4.29	2.83
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析

分析の視点	高い	←————→				低い
	5	4	3	2	1	
必要性	☐	☒	☐	☐	☐	
必然性	☐	☒	☐	☐	☐	
緊急性	☐	☐	☒	☐	☐	
実効性	☐	☒	☐	☐	☐	
時代即応性	☐	☒	☐	☐	☐	
持続可能性	☐	☒	☐	☐	☐	
成果・課題等	共働き世帯の増加と少子化による幼稚園需要減少が続くが、今後の状況にも注視して適切な事業運営に努める。					

項目	1	2	3	4	5
必要性					
必然性					
緊急性					
実効性					
時代即応性					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	病後児保育事業				所管課	子育て・健康課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	保護者が安心して働くことができるように支援するため。			
事業概要	病気の回復期にある児童が、集団保育及び家庭での保育が困難な場合において、適切な施設で一時的に保育を実施する。					

事業予算						
会計	01	款項目	03	02	01	大事業 0006 病後児保育事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
						R 4 決算額
	直接事業費	973		1,020		851
	概算人件費	129		100		123
トータルコスト		1,102		1,120		974
国庫/県支出金		0		0		0
その他		0		0		0
R 4 概算人件費		正規職員		0.01 人		42 千円
		再任用職員		人		千円
		会計年度任用職員		人		千円
		その他		人		千円
		合計				42 千円

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	病後児保育登録者数(人)	－	19	12	14	11
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	教育・保育環境の充実	4.29	2.83
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析					
分析の視点	高い	← 高い → 低い			
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	共働き世帯の増加により、病後児保育の需要は高まっており、事業の有益性は利用者から評価されているが、今後も幼稚園・保育園におけるチラシ配付や広報紙掲載等の周知に努めていく。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

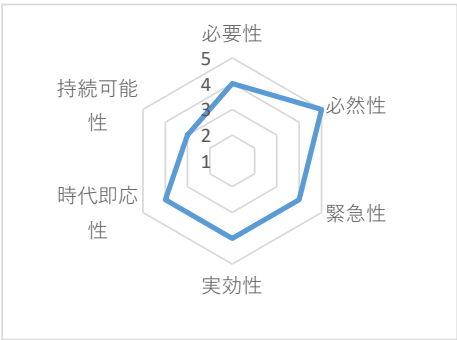
予算等事業名	小児医療費助成事業				所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
			●		●		
事業対象	町民	目的	小児に係る医療費の一部を助成することにより、小児の健全な育成を支援し、もって小児の福祉の増進を図ることを目的とする。				
事業概要	小児にかかる医療費の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を行い小児の健康の増進を図る。						

事業予算							
会計	01	款項目	03	02	01	大事業	0002 小児医療費助成事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
						R 4 決算額	
	直接事業費	67,856		52,142		59,423	
	概算人件費	1,160		2,391		1,128	
トータルコスト		69,016		54,533		60,551	
国庫/県支出金		13,822		8,503		10,661	
その他		0		94		0	
R 4 概算人件費		正規職員		0.17 人		835 千円	
		再任用職員		人		千円	
		会計年度任用職員		人		千円	
		その他		人		千円	
		合計				835 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	小児医療証発行数（枚）	－	2,623	2,584	2,394	2,688
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	子育て中の親への支援の充実	4.11	3.05
2	子育てコミュニティづくりの推進	3.95	3.04
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析					
分析の視点	高い	← 高い → 低い			
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□
成果・課題等	令和4年10月から所得制限を撤廃し、より多くの対象世帯へ経済的負担を軽減する子育て支援を実施した。県内多くの自治体が対象年齢を18歳まで延長している現状において検討を要する。				



※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

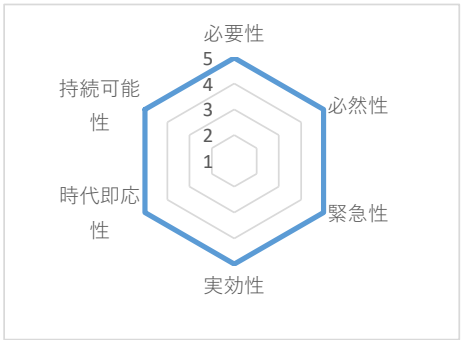
予算等事業名	児童手当支給事業				所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
	●				●		
事業対象	町民	目的	家庭における生活の安定に寄与するとともに、児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的としている。				
事業概要	中学生までの児童を養育している者に、児童の健全な育成と家庭における生活の安定を図るために手当を支給する。						

事業予算							
会計	01	款項目	03	02	05	大事業	0002 児童手当支給事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
						R 4 決算額	
	直接事業費	337,623		330,829		322,906	
	概算人件費	1,450		1,449		991	
トータルコスト		339,073		332,278		323,897	
国庫/県支出金		285,342		279,937		273,285	
その他		60		50		0	
R 4 概算人件費		正規職員		0.38 人		1,096 千円	
		再任用職員		人		千円	
		会計年度任用職員		人		千円	
		その他		人		千円	
		合計				1,096 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	児童手当受給者（延人数）	－	32,370	31,651	30,853	29,016
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	子育て中の親への支援の充実	4.11	3.05
2	子育てコミュニティづくりの推進	3.95	3.04
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析					
分析の視点	高い	← 高い → 低い			
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	法令に基づき適正に支給事業を実施しているが、令和6年10月に予定されている制度拡充に適切に対応していくため国県等との連携を密に進めていく。				



※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	児童虐待防止対策事業				所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●				●	●	
事業対象	町民、関係機関	目的	児童虐待の防止に努める。				
事業概要	要保護児童地域対策協議会を開催し、児童虐待の防止及び関係機関との調整を図る。						

事業予算								
会計	01	款項目	03	02	01	大事業	0007 一般経費	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額
	直接事業費	134		0		0		0
	概算人件費	6,172		6,016		6,638		5,387
トータルコスト		6,306		6,016		6,638		5,387
国庫/県支出金		1,579		1,599		0		0
その他		0		0		0		0
R 4 概算人件費	正規職員			0.47 人		2,169 千円		
	再任用職員			0 人		0 千円		
	会計年度任用職員			1 人		3,218 千円		
	その他			人		千円		
	合計					5,387 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
① 児童相談件数（件）	－	1,500	1,330	1,390	2,731
② 代表者会議、実務者会議回数（回）	－	5	2	5	5

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	子育て中の親への支援の充実	4.11	3.05
2	子育てコミュニティづくりの推進	3.95	3.04
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

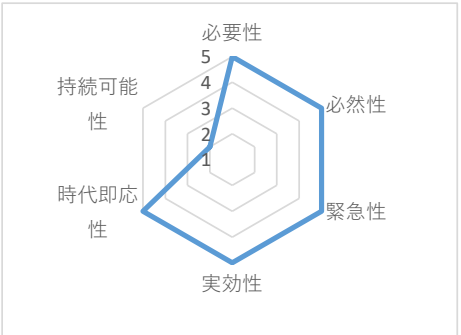
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	← 高い → 低い			
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	□	□	□	■	□
成果・課題等	長期間継続的に係る相談が増加している。多様で複合的な課題を抱える家庭の増加により、他機関連携及び専門職的な知識が必要となっている。				



※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

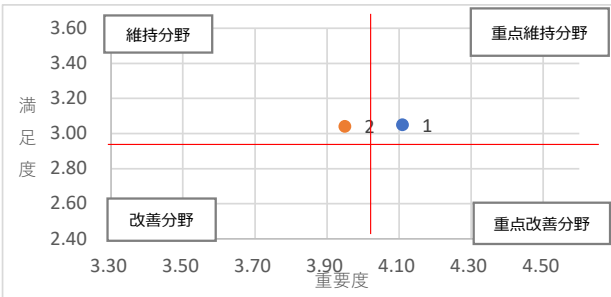
基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	ひとり親世帯関係経費				所管課	子育て・健康課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
				●	●	
事業対象	町民	目的	ひとり親家庭の自立及び生活の安定を図るため。			
事業概要	ひとり親家庭の自立、生活の安定の一助として医療費を助成するとともに、これらの家庭において緊急一時ヘルパーを必要とする場合、助成する。					

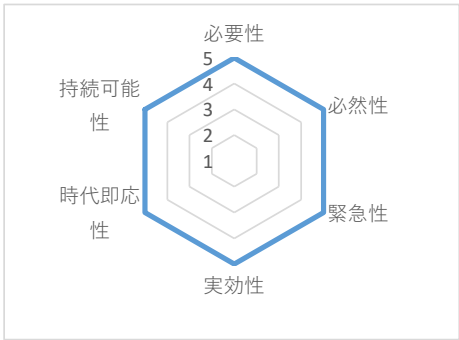
事業予算						
会計	01	款項目	03	02	01	大事業 0001 ひとり親世帯関係経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
						R 4 決算額
	直接事業費	14,449		16,039		12,503
	概算人件費	516		797		1,173
	トータルコスト	14,965		16,836		13,676
	国庫/県支出金	6,493		4,884		5,392
	その他	0		0		0
		正規職員		0.4 人		1,200 千円
		再任用職員		人		千円
		会計年度任用職員		人		千円
		その他		人		千円
		合計				1,200 千円

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	ひとり親医療証発行数（枚）	－	166	140	175	165
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	子育て中の親への支援の充実	4.11	3.05
2	子育てコミュニティづくりの推進	3.95	3.04
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析					
分析の視点	高い	← 高い → 低い			
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	就労面での制約が出やすいひとり親世帯にとって、医療費助成は経済的な支援として大きな安心感につながる事業であり、引き続き適切な制度運営に努めなければならない。				



※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

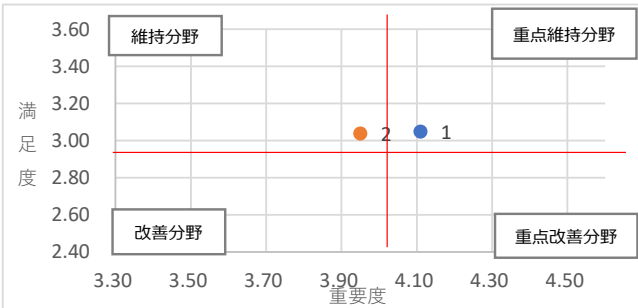
基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	子育てサロン及び一時預かり運営事業 ※				所管課	子育て・健康課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供を行う。また家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児に預かる。			
事業概要	子育て支援の充実を図るため、子育てサロン及び一時預かりを社会福祉法人に委託し、運営の安定化を図る。					

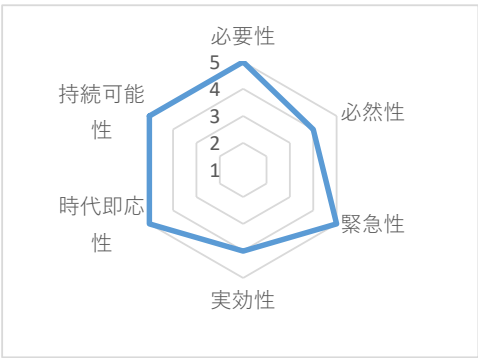
事業予算								
会計	01	款項目	03	02	02	大事業	0001 子育てサロン及び一時預かり運営事業	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額
	直接事業費	24,628		22,965		24,783		24,890
	概算人件費	721		737		838		884
トータルコスト		25,349		23,702		25,621		25,774
国庫/県支出金		13,016		15,830		15,447		15,518
その他		705		421		0		636
R 4 概算人件費		正規職員		0.15 人		884 千円		
		再任用職員		人		千円		
		会計年度任用職員		人		千円		
		その他		人		千円		
		合計				884 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	子育てサロン利用者数（人）	－	10,466	6,351	6,526	5,861
②	一時預かり利用者数（人）	－	456	289	349	320

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	子育て中の親への支援の充実	4.11	3.05
2	子育てコミュニティづくりの推進	3.95	3.04
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析					
分析の視点	高い	← 高い → 低い			
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	孤立しがちな保育園・幼稚園入園前の乳幼児の保護者などの交流の場として、また育児等への悩みや不安を軽減するための一助として有益な事業であり、今後も施設や制度の周知・利用促進に努めていく。				



1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

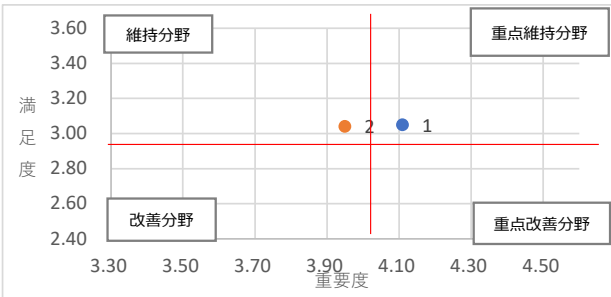
基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	子育て支援対策事業				所管課	子育て・健康課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
	●				●		●
事業対象	町民	目的	子ども・子育て支援事業計画の進捗状況の把握などを行っていく。				
事業概要	子ども・子育て会議を開催し、子ども・子育て支援事業計画を策定する。また、子育て支援に関する事業を行う。						

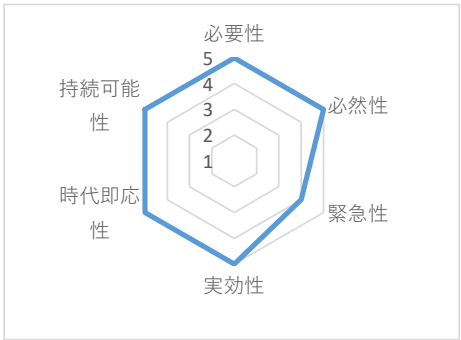
事業予算									
会計	01	款項目	03	02	01	大事業	000 5 子育て支援対策事業		
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額	
	直接事業費	10,326		6,172		5,093		5,423	
	概算人件費	3,875		1,612		1,374		1,364	
トータルコスト		14,201		7,784		6,467		6,787	
国庫/県支出金		1,332		1,963		1,532		1,532	
その他		0		0		0		0	
R 4 概算人件費		正規職員		0.22 人		1,364 千円			
		再任用職員		人		千円			
		会計年度任用職員		人		千円			
		その他		人		千円			
		合計				1,364 千円			

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	0～64歳までの人口構成割合【戦略】（％）	67.3	67.3	65.1	64.4	63.8
②	ファミサポまかせて会員数（人）	－	65	69	75	83

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	子育て中の親への支援の充実	4.11	3.05
2	子育てコミュニティづくりの推進	3.95	3.04
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析					
分析の視点	高い	← 高い → 低い			
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	今後の町の子育て施策の方向性を示す子ども・子育て支援事業計画の、令和7年度からを計画年度とする第3期計画について、国こども家庭庁等の動向に注視しながら2か年をかけて策定する。				



※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

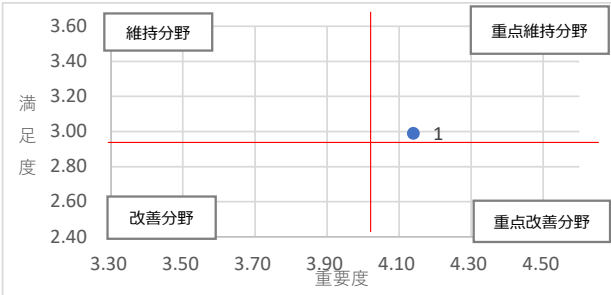
基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	学童保育所維持管理経費				所管課	子育て・健康課
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
					●	●
事業対象	町民	目的	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、授業終了後に適切な遊びや生活の場を与えて、健全育成を図る。			
事業概要	町内3か所の学童保育所の運営を社会福祉法人に委託し、また、民間学童保育所に補助を実施し、学童保育の運営について安定化を図る。					

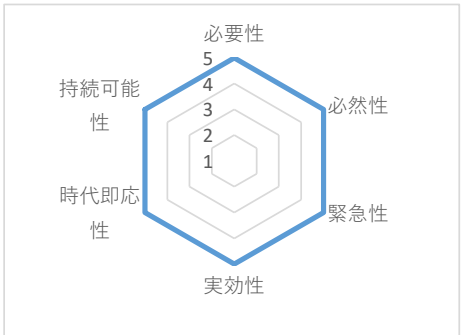
事業予算							
会計	01	款項目	03	02	01	大事業	0004 学童保育所維持管理経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
						R 4 決算額	
	直接事業費	36,327		60,161		52,832	
	概算人件費	2,914		2,427		2,008	
トータルコスト		39,241		62,588		54,840	
国庫/県支出金		20,170		37,511		35,495	
その他		0		0		0	
R 4 概算人件費		正規職員		0.5 人		2,668 千円	
		再任用職員		人		千円	
		会計年度任用職員		人		千円	
		その他		人		千円	
		合計				2,668 千円	

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	学童保育会員数（人）	－	273	284	282	314
②	児童数に対する学童保育所利用者の割合【戦略】（％）	23.6	23.6	23.7	23.9	26.6

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	学童保育所の充実	4.14	2.99
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析					
分析の視点	高い	← 高い → 低い			
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	■	□	□	□	□
持続可能性	■	□	□	□	□
成果・課題等	共働き世帯からの需要が増加しているが、将来的に少子化に伴って減少に転じることも想定し、委託事業者・民間学童保育所と連携し適切な事業運営に努め、引き続き希望者の円滑な受け入れを図る。				



1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			